

後期アクションプラン 基本方針ごとの個別評価

(1) ー 方向性1 「つくる、いかす」 ー

①基本方針1 優れた芸術文化に触れる機会の拡大

取組み数	基準値に対する評価	
	評価内訳	評価
3	◎評価1 ○評価2	○

■基本施策1 優れた作品の鑑賞機会の充実

■基本施策2 他施設と連携した鑑賞機会の提供

【取組み内容】

- ・文化振興財団公演事業の実施
- ・美術博物館企画展の開催
- ・全国の劇場と連携した舞台芸術作品の上演

【成果】

文化振興財団を通じて各種演劇、ミュージカル等の公演事業を実施しました。また、美術博物館のリニューアルオープン記念展等を実施し、国内外の優れた文化芸術作品の鑑賞機会の充実に資する事業を行いました。

【課題】

コロナ禍によって一度落ち込んだ参加者数は、毎年多様な事業を実施することで回復してきています。今後、人口減少に伴う総量としての鑑賞者数の縮小が見込まれる中で、どのような分野に潜在需要があるのか、優れた文化芸術事業を継続的に展開できるのかを随時調査しつつ、公演内容等を充実させていく必要があります。

②基本方針 2 豊橋発の芸術文化の創造

取組み数	基準値に対する評価	
	評価内訳	評価
5	◎評価 1 ○評価 4	○

- 基本施策 1 豊橋独自の作品創造
- 基本施策 2 特色ある美術展覧会の開催
- 基本施策 3 他施設と連携した作品創造や展覧会の開催

【取組み内容】

- ・豊橋発の舞台芸術公演の開催
- ・市民参加型舞台芸術公演「高校生と創る演劇」、「市民と創造する演劇」等の開催
- ・アーティスト・イン・レジデンス事業の実施
- ・特色ある美術展覧会の開催
- ・全国の劇場と連携した舞台芸術作品の上演（再掲）

【成果】

「高校生と創る演劇」や「市民と創造する演劇」等の市民が参加し、舞台作品を創作する取組みを実施しました。また、国内外からアーティストを一定期間本市に招へいし、滞在中の創作活動を支援し、豊橋発の舞台作品を創りあげる等、市の文化的魅力を高める取組みを行いました。

美術博物館では、「豊橋鉄道 100 年市電と渥美線展」や「生誕 100 年中村正義展」等地域の特色ある美術展覧会を行いました。

また、穂の国とよはし芸術劇場 PLAT 開館 10 周年記念としてプロデュースの「たわごと」を東京・京都等で上演しました。

【課題】

市民等が参加し創造する舞台芸術では、参加希望者が固定化しすぎない工夫が必要です。また、一定数の新規参加者数を増やすことが求められています。

美術分野では、観覧者の高齢化がみられ、美術の展覧会を鑑賞する習慣のない子どもたちを呼び込む取組みが必要です。一方でポップカルチャーのような展覧会だけでなく、ファインアートや歴史の展示等を通じて美術・歴史に親しむ市民を増やす取組みも必要です。

③基本方針 3 豊橋の文化的魅力の発信

取組み数	基準値に対する評価	
	評価内訳	評価
13	◎評価3 ○評価5 △評価5	△

■基本施策1 人を呼び込むイベントの展開

■基本施策2 戦略的な広報活動の展開

【取組み内容】

- ・とよはしアートフェスティバルの開催
- ・インターナショナルフェスティバルの開催
- ・豊橋発祥の伝統文化である手筒花火の放揚
- ・子ども造形パラダイスの開催
- ・灯籠で飾ろう二川宿の開催
- ・多角的な広報媒体を活用した情報発信 等

【成果】

とよはしアートフェスティバル、インターナショナルフェスティバルや手筒花火の放揚等、特色あるイベントを実施し、市内外から多くの人を呼び込みました。また、SNS等多様な媒体の活用によって広く文化芸術に関する情報発信をしました。

【課題】

多くの人に参加するイベント等の開催を契機とし、地域住民との協働や関係人口を増やすような交流を盛んにする仕組みの構築が必要です。

多角的な広報媒体を活用した情報発信について、ホームページ、情報誌、チラシの配布をはじめソーシャルメディアの活用等の様々な媒体を駆使して、より効果的な情報発信の方法を模索していく必要があります。

(2) — 方向性2 「ひろげる、つなぐ」 —

①基本方針1 幅広い領域での芸術文化の活用

取組み数	基準値に対する評価	
	評価内訳	評価
10	◎評価7 ○評価2 △評価1	◎

- 基本施策1 教育分野との連携・協力
- 基本施策2 福祉分野との連携・協力
- 基本施策3 観光・産業分野等との連携・協力

【取組み内容】

- ・小中学校向け公演鑑賞事業の開催
- ・小中学校向けワークショップの開催
- ・美術作品の鑑賞授業・鑑賞体験の開催
- ・福祉関連施設向けワークショップ事業の実施
- ・「夢いっぱいの特等席」福祉コンサートの開催
- ・豊橋発祥の伝統文化である手筒花火の放揚（再掲） 等

【成果】

小中学校向けワークショップ事業の実施、美術作品の鑑賞授業・鑑賞体験、「夢いっぱいの特等席」福祉コンサート等を実施し、教育分野や福祉分野との連携を深めることができました。

【課題】

学校や福祉施設とアーティスト間でのワークショップや鑑賞体験をコーディネートできる人材の育成が急務です。文化芸術を活かせるように「幅広い領域」として教育・福祉・観光・産業等の分野と文化の担い手とが連携していけるよう仕組みを検討していく必要があります。

②基本方針2 芸術文化ネットワークの形成

取組み数	基準値に対する評価	
	評価内訳	評価
8	◎評価5 ○評価2 △評価1	◎

- 基本施策1 多様な芸術文化情報の提供
- 基本施策2 ネットワーク形成に向けた準備
- 基本施策3 広域を視野に入れたネットワーク

【取組み内容】

- ・多角的な広報媒体を活用した情報発信（再掲）
- ・豊橋文化祭の開催
- ・新春文化団体交流会の開催
- ・コーラスのつどいの開催
- ・全三河書道百選展の開催
- ・東三河文化行政研究協議会の開催 等

【成果】

さまざまな文化団体が参加する豊橋文化祭の開催等により文化活動を実施している団体間のネットワークを活かした取組みを展開できました。

【課題】

文化活動が多様化する中で、新たな文化活動が把握できなくなるとともに異なる文化活動間のネットワークを構築することが難しくなっています。

通信技術の発展により自身と似た意見を持つ人々との交流等の機会創出が容易になった反面、異なる価値・視点に触れる機会が減少する状況になってきています。

③基本方針 3 気軽に芸術文化に触れる機会の提供

取組み数	基準値に対する評価	
	評価内訳	評価
15	◎評価5 ○評価7 △評価3	○

■基本施策1 芸術文化の普及啓発活動

■基本施策2 誰もが文化活動を行うことのできる環境の整備

【取組み内容】

- ・三河の若手音楽家育成ワンコインコンサートの開催
- ・美術博物館講演会・講座の開催
- ・美術博物館ギャラリートークの開催
- ・ストリートピアノを活用したコンサートの開催
- ・ピアノ試し弾き会の開催
- ・文化施設環境整備事業の実施 等

【成果】

三河の若手音楽家育成ワンコインコンサートの開催、美術博物館での講演会・講座の開催、文化施設環境整備事業の実施（文化施設への多目的トイレ設置、バリアフリーに配慮した施設整備）を実施しました。

【課題】

人々が親しむ文化・芸術のジャンルが多様化する中で、気軽に様々な活動に参加できるとともに興味関心を高める「きっかけづくり」をしていく必要があります。

誰もが文化芸術活動に参加できる環境を整備していくにあたり、年齢、障がいの有無、国籍、経済状況に関わらず参加できるイベント等も充実する必要があります。

(3) — 方向性3 「はぐくむ、ささえる」 —

①基本方針1 青少年の芸術文化体験機会の拡充

取組み数	基準値に対する評価	
	評価内訳	評価
10	◎評価5 ○評価5	◎

■基本施策1 子ども対象の芸術文化事業の拡充

■基本施策2 教育分野との連携・協力（再掲）

■基本施策3 文化部活動への支援

【取組み内容】

- ・子ども向けの新たな丸山薫賞（丸山薫「帆・ランプ・鷗」賞）
- ・ほの国こどもパスポート事業の実施
- ・豊橋青少年オーケストラキャンプの実施
- ・小中学校向け公演鑑賞事業の開催（再掲）
- ・小中学校向けワークショップ事業の実施（再掲）
- ・楽器寄附ふるさと納税の実施 等

【成果】

子ども向けの丸山薫賞として丸山薫「帆・ランプ・鷗」賞を創設しました。また、新たに音楽を通じた自己研鑽や仲間との交流を楽しむ、豊橋青少年音の輪事業を実施しました。さらに、小中学校に出向きワークショップ等を開催し、子どもたちの創造力や感性を高め、豊かな人間性を養うことができました。

【課題】

中学校部活動の地域展開等子どもを取り巻く環境の変化に注視し、子どもたちが多様な文化芸術に触れる機会を拡充する必要があります。

②基本方針2 市民文化活動の担い手育成

取組み数	基準値に対する評価	
	評価内訳	評価
10	◎評価5 ○評価3 △評価2	○

- 基本施策1 文化活動実践者の育成
- 基本施策2 文化活動を支える人材の育成
- 基本施策3 文化活動への指導・助言

【取組み内容】

- ・生涯学習市民大学トラムの開催
- ・トリエンナーレ豊橋星野眞吾賞展の開催
- ・豊橋青少年オーケストラキャンプの実施（再掲）
- ・ファシリテーター養成講座の開催
- ・東三河地域の高校演劇活動への支援
- ・三河の若手音楽家育成ワンコインコンサートの開催（再掲） 等

【成果】

若手音楽家の運営・経営スキルの向上に取組んだほか、高校生の演劇活動への支援を継続的に行い、地域における人材の発掘・育成ができました。

【課題】

市民文化活動の担い手を育成するためには、実践者を支援する仕組みのほか、文化活動の運営をサポートできる人材の育成等の施策を今後も補強・継続実施していく必要があります。

③基本方針3 顕彰制度の充実

取組み数	基準値に対する評価	
	評価内訳	評価
6	◎評価2 ○評価4	○

■基本施策1 顕彰制度の見直しと次段階への発展

【取組み内容】

- ・丸山薫賞の実施
- ・子ども向けの新たな丸山薫賞（丸山薫「帆・ランプ・鷗」賞）（再掲）
- ・豊橋文化賞・豊橋文化奨励賞の実施
- ・豊橋市表彰・豊橋芸術文化顕彰の実施
- ・豊橋市民展の開催
- ・トリエンナーレ豊橋星野真吾賞展の開催（再掲）

【成果】

丸山薫賞、豊橋文化賞・文化奨励賞や豊橋市民展の開催等の文化芸術の幅広い分野にわたる顕彰を行い、人材の発掘や育成、後進の意欲の喚起に効果がありました。

【課題】

豊橋文化奨励賞等の顕彰事業では、文化振興財団・美術博物館等の既存組織からの推薦によるところが大きく文化活動が多様化する中で、表彰候補者の把握が難しくなっています。

(4) - 方向性4 「つかう、つたえる」 -

①基本方針1 地域の伝統芸能の継承

取組み数	基準値に対する評価	
	評価内訳	評価
10	◎評価5 ○評価2 △評価3	○

■基本施策1 伝統芸能の魅力の再認識

■基本施策2 子どもの伝統芸能学習機会の拡充

【取組み内容】

- ・ 伝統芸能後継者育成事業の実施
- ・ 吉田文楽保存会の定期公演の開催
- ・ 豊橋素人歌舞伎保存会定期公演の開催
- ・ 全国凧あげ大会 in 豊橋の開催
- ・ 三遠南信ふるさと歌舞伎交流大会
- ・ 伝統文化こども教室の開催 等

【成果】

伝統芸能後継者育成事業により飽海人形浄瑠璃に関する技術の継承に一定の効果が出ています。吉田文楽保存会の定期公演の開催や伝統文化こども教室の開催等により伝統文化に対する興味関心を高めることができました。

【課題】

伝統芸能の分野では、高齢化により担い手が不足し、終了した取組みもあります。

特色ある伝統芸能の若き担い手に加え、公演の手配等裏方でサポートを行っていく人材の育成を継続的に進める必要があります。

②基本方針2 地域にある文化資源の活用

取組み数	基準値に対する評価	
	評価内訳	評価
3	◎評価2 ○評価1	◎

■基本施策1 文化財の保存・活用

■基本施策2 特色ある芸術文化活動の活用

【取組み内容】

- ・二川宿本陣、旅籠屋「清明屋」、商家「駒屋」等文化財の活用
- ・文化財保存・活用事業の実施
- ・豊橋交響楽団の演奏活動の支援

【成果】

二川宿本陣、旅籠屋「清明屋」、商家「駒屋」等の文化財の保存を行うとともに、有識者や学芸員による講演会やシンポジウム、現地説明会の開催によって歴史文化資源である本市の文化財に多くの方が触れる機会を提供しました。

【課題】

依然として市民が文化財とその情報に接する機会が限定的となっています。

歴史文化資源が文化芸術振興等に活かされるような、地域資源への愛着の醸成と地域活性化につながる仕組みづくりがともに不十分です

③基本方針3 市民文化活動の環境整備

取組み数	基準値に対する評価	
	評価内訳	評価
13	◎評価6 ○評価6 △評価1	◎

- 基本施策1 文化活動の促進
- 基本施策2 文化活動の周知・紹介
- 基本施策3 文化活動への指導・助言（再掲）

【主な取組み内容】

- ・文化施設の運営・維持管理
- ・美術博物館改修整備事業の実施
- ・豊橋市民展の開催（再掲）
- ・豊橋市市民協働推進補助金の交付
- ・新春文化団体交流会の開催（再掲）
- ・多角的な広報媒体を活用した情報発信（再掲） 等

【成果】

活動や発表の場となる美術博物館や市民文化会館を改修するとともに、文化芸術活動に利用しやすいように施設の運営・維持管理を行ってきました。また、豊橋市民展の開催等により、市民の文化活動の発表する機会を充実できました。

【課題】

限られた人・予算・時間を有効活用しながら、老朽化しつつある各施設の質を維持・向上する必要があります。また、それぞれの施設の特色に合わせた整備を行っていくことが求められます。